学校番号	1201

平成３１年度　地歴公民科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「明解　世界史」　（帝国書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇近世（1500 年頃）以降の歴史について学びます。世界の歴史を知ることで、自分が生活をしている日本を見直す機会にしましょう。
〇私たちが当たり前のように生活をしている世界は、どのような変遷を経てきたのか。システムやツールはいつ生み出されてきたのか。また、それはなぜ生まれたのか。色々な疑問を頭に浮かべながら、講義・グループワークなどを通じて世界史を学びます。

2　学習の到達目標

〇基本知識を理解することができる。
〇興味・関心をもって，積極的に学習に取り組むことができる。
〇課題意識をもって，意欲的に追究することができる。
〇資料を収集，活用し，内容を理解し、他者にわかりやすく表現することができる。
〇日本史と世界史の関連について，その意味を理解し，事象相互の関連や自分たちが生活する現代とのつながりに気づくことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	歴史の舞台としての自然環境や日本列島の中にみられる世界との関係･交流について関心を高め，意欲的に追究している。	自然環境と歴史，日本史と世界史のつながりについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。	地図や写真を読み取る活動，年表や地図に表現するなど，世界史学習の基本的技能を身につけている。	自然環境と人間の活動，日本史と世界史が関連していることを理解する。
評価方法	授業態度の観察 提出物 グループワーク等への参加度合い ノート	定期考査 ノート レポート課題	定期考査 小テスト ノート ワークシート	ノート 発表 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。考査は年５回実施します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	1部　世界の一体化と日本　1章　前近代の諸文明序節　人類の始まり	人類の登場と，農耕・牧畜による食料生産を基礎にして，人類が文明を築き，歴史時代へはいっていくありさまを地域ごとに概観し，各地域世界が形づくられていく過程を理解する。	○		○		a：人類の発生・進化の過程や農耕・牧畜による食料生産革命，文明の成立などについて関心を高め，意欲的に追究するとともに，人類史について考えようとしている。 b：人類の登場，食料生産革命，文明の成立などについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c：人類の登場，食料生産革命，文明の成立などに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d：先史時代について概観し，人間の進化を把握するとともに，基本的知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査
	1節　東アジアの文明	東アジアの風土と諸民族，封建制度，漢字文化圏，儒教思想，律令体制，文治主義，冊封体制などを通して，日本を含む東アジアの文明の特質を理解する。	○			○	a：東アジアの風土・生活・言語・思想などについて関心を高め，意欲的に追究するとともに，東アジアの特質について考えようとしている。 b：東アジアの風土・生活・言語・思想などについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c：東アジアの風土・生活・言語・思想などに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d：日本を含む東アジアの文明の特質(封建制度，漢字文化圏，儒教思想，律令体制，文治主義，冊封体制など)を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査 小テスト

	2節　南アジアの文明	南アジアの風土と諸民族，カースト制，仏教，ヒンドゥー教，イスラームの影響などを通して，南アジアの文明の特質を理解する。	○			○	a：南アジアが，宗教と社会制度を共通の基盤として一つの社会が形づくられたことについて関心を高め，意欲的に追究するとともに，南アジアの特質について考えようとしている。 b：南アジアが宗教と社会制度を共通の基盤として一つの社会が形づくられたことについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c：南アジアが，宗教と社会制度を共通の基盤として一つの文明を形成したことに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d：南アジアの文明の特質（カースト制，仏教，ヒンドゥー教，イスラームの影響など）を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査
	3節　東南アジアの文明	自然環境や地理的位置に着目し，インドと中国のはざまにあるため，両文明の影響を受けながら，それぞれの地域で多様な社会・文化を築いていった東南アジアの特質を理解する。	○			○	a：東南アジアの風土・生活・文化などについて関心を高め，意欲的に追究するとともに，東南アジア世界の特質について考えようとしている。 b：東南アジアが独自の文化を生み出したことについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c：東南アジアに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d：東南アジアの特質（都市や港市のネットワークなど）を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査

	4節 西アジア・	西アジア・北アフリカの風土と諸民族，オリエント文明・イラン文明の伝統にふれ,基層となる西アジアの特徴を把握し，イスラームの成立と拡大・分裂などを通して，西アジア・北アフリカの文明の特質を理解する。	○	○		○	a 西アジア・北アフリカが，さまざまな遊牧民，農耕民，交易民により形成され，拡大したことについて関心を高め，意欲的に追究するとともに，西アジア・北アフリカの特質について考えようとしている。 b 西アジア・北アフリカが，さまざまな遊牧民，農耕民，交易民により形成され，拡大したことについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c 西アジア・北アフリカが，さまざまな遊牧民，農耕民，交易民により形成され，拡大したことに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 d 西アジア・北アフリカがの成立とその特色，地域的な拡大と独自の世界の形成について，イスラーム国家の柔軟性やムスリム商人の役割などを把握し，基本的知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査 小テスト

	5節 ヨーロッパの文明	ヨーロッパの風土と諸民族，ギリシア・ローマ文明の伝統，キリスト教の発展，封建社会などを通して，ヨーロッパの文明の特質を理解する。	○	○		○	ａヨーロッパの風土・生活・文化などについて関心を高め，意欲的に追究するとともに，ギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパの特質について考えようとしている。 ｂギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 ｃギリシア・ローマ文明の伝統とキリスト教によって一つの文明を形成したヨーロッパに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄヨーロッパの文明の特質（ギリシア・ローマ文明の伝統，キリスト教の発展，封建社会など）を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査 小テスト
	6節 南北アメリカの文明	南北アメリカ大陸の風土と先住民にふれ，ヨーロッパが進出する以前の南北アメリカ大陸において独自の文化が築かれていたことを理解する。	○		○	○	ａ南北アメリカの大陸の風土と先住民，独自の文明に対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，南北アメリカの文明の特質について考えようとしている。 ｂ南北アメリカの文明の特質を考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 ｃ南北アメリカの文明の特質に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄ南北アメリカの文明の特質を構造的視野から把握し，基本的知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 提出物

	7節 ユーラシアの交流圏	ユーラシアの内陸及び海域のネットワークを背景に，諸地域間の交流が進み，ユーラシア規模の交流圏が成立していくようすを交易品などの事例を通して巨視的かつ視覚的に把握し，相互の文化受容の進展について理解する。	○	○		○	ａユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた内陸および海域（都市や港市）のネットワークに対する関心を高め，意欲的に追究し，考えようとしている。 ｂユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた内陸および海域（都市や港市）のネットワークについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 ｃユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた内陸および海域（都市や港市）のネットワークに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄユーラシア規模の交流圏の成立とそれを支えた内陸および海域（都市や港市）のネットワークを把握し，基本的知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査 小テスト
	2章 一体化に向かう世界 1節 繁栄するアジア	アジアのティムール・オスマン・ムガル・明・清などの諸帝国の政治と社会にふれ，この時期に安定した支配と経済の繁栄を背景に，文化も黄金時代を迎えたことを理解する。	○	○		○	ａ成熟期を迎えたアジアの諸帝国に対する関心を高め，意欲的に追究し，その特色について考えようとしている。 ｂ成熟期を迎えたアジアの諸帝国の特色について考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 ｃ成熟期を迎えたアジアの諸帝国の特色に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄ成熟期を迎えたアジアの諸帝国の特色を理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査 小テスト

2学期	”2節 大航海時代と新たな国家の形成	ルネサンスと宗教改革，新航路の開拓などにふれ，16世紀頃から始まった世界の一体化への動きと新たなヨーロッパのわく組みとなった主権国家体制の形成について理解する。	○	○		○	ａ16～18 世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向，社会・文化の特質，アメリカ・アフリカに対する関心を高め，意欲的に追究し，考察しようとしている。 ｂ16～18 世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向，社会・文化の特質，アメリカ・アフリカとの関係について考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 ｃ16～18 世紀にかけてのヨーロッパ世界の動向，社会・文化の特質，アメリカ・アフリカとの関係に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄヨーロッパではルネサンスと宗教改革，新航路の開拓を経て主権国家体制が形成され，アメリカではヨーロッパ人による征服と入植・開発が先住民社会の変質を余儀なくしたこと，またアジア貿易への参入やメキシコ銀の流入がヨーロッパ経済の成長と転換をもたらしたことを把握し，その知識を身につけている	授業態度の観察 発表 提出物 定期考査
	課題学習(2部2章4節「持続可能な社会をめ	三つの事例を通して”共に生きる世界”について考察する。あるいは，自ら主題を見つけ，自ら調べて，レポートにまとめて報告・発表する。	○	○	○		ａ主題を追究することで，歴史への関心と世界史学習への意欲をもとうとしている。 ｂ適切な主題を設定し，考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 ｃ資料を用いて追究した過程や結果について，報告書にまとめ，発表や討論をする。 ｄ適切な主題に関連した歴史について理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 発表 提出物 定期考査 小テスト

	3章　欧米の工業化とアジア諸国	アメリカ諸国の独立，フランス革命，産業革命，拡大する貿易活動などを通して，西ヨーロッパとアメリカに産業社会が成立し，市民社会および国民国家の形成が進行したことを理解する。	○			○	ａ18 世紀後半から 19 世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に対する関心を高め，意欲的に追究し，社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことについて考えようとしている。 ｂ18 世紀後半から 19 世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命を考察し，社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことを判断して，一連の思考の過程を適切に表現している。 ｃ18 世紀後半から 19 世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命に関する資料を収集し，適切に活用して，社会の産業化と国民国家の形成により近代世界が確立したことを考察する技能を身につけている。 ｄ18 世紀後半から 19 世紀にかけてのヨーロッパとアメリカの諸革命について理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査 小テスト
	2節　自由主義・ナショナリズムの進展	19 世紀後半のヨーロッパ，アメリカ社会を通して，自由主義とナショナリズムが進展していくようすとアメリカの発展について理解する	○			○	ａ1848 年を転換点として，自由主義とナショナリズムが進展したことに対する関心を高め，意欲的に追究し，考えようとしている。 ｂ1848 年を転換点として，自由主義とナショナリズムが進展したことについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 ｃ1848 年を転換点として，自由主義とナショナリズムが進展したことに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄ1848 年を転換点として，自由主義とナショナリズムが進展したことを理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査 小テスト

	3節 アジア諸国の動揺	オスマン帝国の弱体化やムガル帝国の崩壊などを通して，世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況，植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折，伝統文化の変容など，アジア諸国の動揺のようすを理解する。	○			○	ａアジア諸国の内部で進行していた変化と，ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，その特質について考えようとしている。 ｂアジア諸国の内部で進行していた変化と，ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌について考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 ｃアジア諸国の内部で進行していた変化と，ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄ世界市場の形成を背景にしたヨーロッパ諸国のアジア進出とアジア諸国の状況，植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折，伝統文化の変容など，アジア諸国の動揺を理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査 小テスト

	4節　東アジアの大変動	アヘン戦争やアロー戦争などの西洋の衝撃により，冊封＝朝貢体制に基づく東アジアの伝統的な国際秩序が崩壊していく過程を通して，ヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況，半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折，その中での日本の対応など，東アジアの大変動を理解する。	○	○		○	ａ東アジア諸国の内部で進行していた変化と，ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，その特質について考えようとしている。 ｂ東アジア諸国の内部で進行していた変化と，ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌を考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 ｃ東アジア諸国の内部で進行していた変化と，ヨーロッパの進出によって引き起こされた変貌に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄヨーロッパ諸国の東アジア進出と東アジア諸国の状況，半植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折，その中での日本の対応など，東アジアのようすを理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査 小テスト

	1章　現代世界の芽生えと	交通革命，マス=メディアの発達，企業や国家の巨大化，社会の大衆化と政治や文化の変容，公教育の普及と国民統合などを通して，20 世紀という時代の特質を把握するとともに，欧米諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競合と人口移動から，世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解する。	○			○	ａ19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて，欧米諸国や日本などにみられた社会の急激な変化と 19 世紀の世界の一体化に対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，その特質を人類史的視野から考えようとしている。 ｂ19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて，欧米諸国や日本などにみられた社会の急激な変化と 19 世紀の世界の一体化について考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 c19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて，欧米諸国や日本などにみられた社会の急激な変化と 19 世紀の世界の一体化に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄ産業構造の変化や大量消費社会・大衆社会の始まりなど，20 世紀という時代の特質を人類史的視野から把握するとともに，欧米諸国によるアジア・アフリカの植民地化をめぐる競合と人口移動から世界の支配・従属関係を伴う一体化と社会の変容を理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査 小テスト

	2節 第一次世界大戦が	第一次世界大戦と総力戦としての様相，ロシア革命，ソヴィエト連邦の成立，戦争と革命による国際秩序の変化，アメリカの大衆生活とその波及を通して，20世紀初頭の変化の様相を理解する。	○		○	○	ａ第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義などに対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，20 世紀初頭の変化の様相について考えようとしている。 ｂ第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義について考察し，20 世紀初頭の変化の様相について考察し，一連の思考の過程を適切に表現している。 ｃ第一次世界大戦の原因と性格，平和の意義と 20 世紀初頭の変化の様相に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄ第一次世界大戦の原因と性格，ロシア革命の展開とそれが世界に与えた影響，戦争と革命による国際秩序の変化，国際協調とヴェルサイユ体制，アメリカ的生活様式の資本主義社会への普及について理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査 小テスト

	3節 〝民族自決〟を求めて	インド・中東および東アジアの民族運動を通して，〝民族自決〟を求めたアジアのナショナリズムの動きを理解する。	○	○		○	ａインド・中東および東アジアの民族運動に対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，〝民族自決〟を求めたアジアのナショナリズムの動きについて考えようとしている。 ｂインド・中東および東アジアの民族運動について考察し，〝民族自決〟を求めたアジアのナショナリズムの動きについて考察し，一連の思考の過程を適切に表現している。 ｃインド・中東および東アジアの民族運動と〝民族自決〟を求めたアジアのナショナリズムの動きに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄ第一次世界大戦後，インド・トルコ・中国などの民族運動が大衆的基盤をもち，アジア諸民族の動向が世界史の新しい潮流をつくり出したことを理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査 小テスト

	4節　経済危機から第二次	第二次世界大戦の原因や総力戦としての性格，それらが及ぼした影響を理解し，平和の意義などについて考察する。2部1章2節とあわせて 20世紀前半の国際政治の流れを概観し，国際関係の変遷と社会の特質を理解する。	○			○	ａ世界恐慌と資本主義の変容，20世紀前半の国際政治の流れ，第二次世界大戦の原因や性格などに対する関心を高め，意欲的に追究するとともに，現代の戦争の特質と平和の意義について考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 ｂ世界恐慌と資本主義の変容，20世紀前半の国際政治の流れ，第二次世界大戦の原因や性格，現代の戦争の特質と平和の意義などについて考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 ｃ世界恐慌と資本主義の変容，20世紀前半の国際政治の流れ，第二次世界大戦の原因や性格，現代の戦争の特質と平和の意義などに関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄ世界恐慌と資本主義の変容，20世紀前半の国際政治の流れ，第二次世界大戦の原因や性格，現代の戦争の特質と平和の意義について理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 定期考査 小テスト

3学期	2章　冷戦から地球社会へ	第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立，アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解し，核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察する。	○	○		○	ａ第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立や，アジア・アフリカ諸地域でみられた民族独立運動の展開，平和共存と多極化の進展などを通して，1970 年頃までの世界の大きな動向について関心を高め，意欲的に追究し，考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 ｂ第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立や，アジア・アフリカ諸地域でみられた民族独立運動の展開，平和共存と多極化の進展などを通して，1970 年頃までの世界の大きな動向について考察し，判断した過程や結果について適切に表現している。 ｃ第二次世界大戦後の米ソを中心とする両陣営間の対立や，アジア・アフリカ諸地域でみられた民族独立運動の展開，平和共存と多極化の進展などを通して，1970 年頃までの世界の大きな動向に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄ第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立，アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立，平和共存と多極化の進展などを通して，1970 年頃までの世界の大きな動向について理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 提出物 定期考査

	2節　冷戦終結への道のり	1970 年代以降は市場経済の世界化をはじめ，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，世界が大きく変容し，今日に至っていることを理解する。	○	○		○	ａ、市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970 年代以降の世界の大きな変容に対する関心を高め，意欲的に追究し，考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 ｂ、市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970 年代以降の世界の大きな変容について考察し，判断した過程や結果について適切に表現している。 ｃ、市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970 年代以降の世界の大きな変容に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄ、市場経済の世界化，米ソのゆらぎや冷戦の終結などから，1970 年代以降の世界の大きな変容について理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 提出物 定期考査

	3節　地球社会への歩み	冷戦終結後の世界の政治・経済の動向について理解するとともに，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向を模索し，これからの国際社会における日本の役割について考察する。	○	○		○	ａ冷戦終結後の世界の政治・経済の動向について関心を高め，意欲的に追究するとともに，これからの国際社会における日本の役割，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について考え，国際社会に生きる日本人としての自覚をもとうとしている。 ｂ冷戦終結後の世界の政治・経済の動向，これからの国際社会における日本の役割，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について考察し，判断した過程や結果について適切に表現している。 ｃ冷戦終結後の世界の政治・経済の動向，これからの国際社会における日本の役割，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向に関する資料を収集し，適切に活用する技能を身につけている。 ｄ冷戦終結後の世界の政治・経済の動向，これからの国際社会における日本の役割，日本が世界の諸国・諸地域と多様性を認め合いながら共存する方向について理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 提出物 定期考査

	4節 持続可能な社会を	三つの事例，①フランスから送還されたロマの人々，②よみがえる伝統工芸“ノクシカタ”，③ピョートル大帝の夢と枯渇する大アラル海，を通して，″共に生きる世界″について考察し，その構築に向けての方策を探る。そして，これからの世界と日本のあり方や世界の人々が共存できる，環境・経済・社会のバランスが保たれた″持続可能な社会″の実現について考える。	○	○	○	○	ａ、事例を通して″共に生きる世界″″持続可能な社会″について考察することで，その構築に向けての方策を意欲的に探ろうとしている。 ｂ、事例を通して″共に生きる世界″″持続可能な社会″について考察し，判断し，その構築について展望をもっている。 ｃ、″共に生きる世界″″持続可能な社会″に関する資料を用いて追究した過程や結果について，報告書にまとめたり，発表や討論をしたりしている。 ｄ、地球規模での問題の出現を理解し，″共に生きる世界″″持続可能な社会″を構築するための展望をもち，その知識を身につけている。	授業態度の観察 ノート 発表 提出物 定期考査
	課題学習	ここまで学習したことをふまえ，現代世界の特徴や課題について，それぞれが興味のあるテーマを見つけて決定し，自ら調べて，レポートにまとめ，報告・発表する。意見交換の場を通して，自分の意見をいっそう明確にしたり，修正・再検討を加える。	○	○	○	○	ａ主題を追究することで，現代世界の特徴や課題への関心と世界史学習への意欲をもとうとしている。 ｂ適切な主題を設定して考察し，判断した過程や結果を適切に表現している。 ｃ資料を用いて追究した過程や結果について，報告書にまとめ，発表や討論をする。 ｄ適切な主題に関連した現代世界の特徴や課題について理解し，その知識を身につけている。	授業態度の観察 発表 提出物 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。